

SDGsシンポジウム

「誰も取り残されない愛知」を実現するために何をすべきか

愛知県の人間の安全保障指標からみる女性

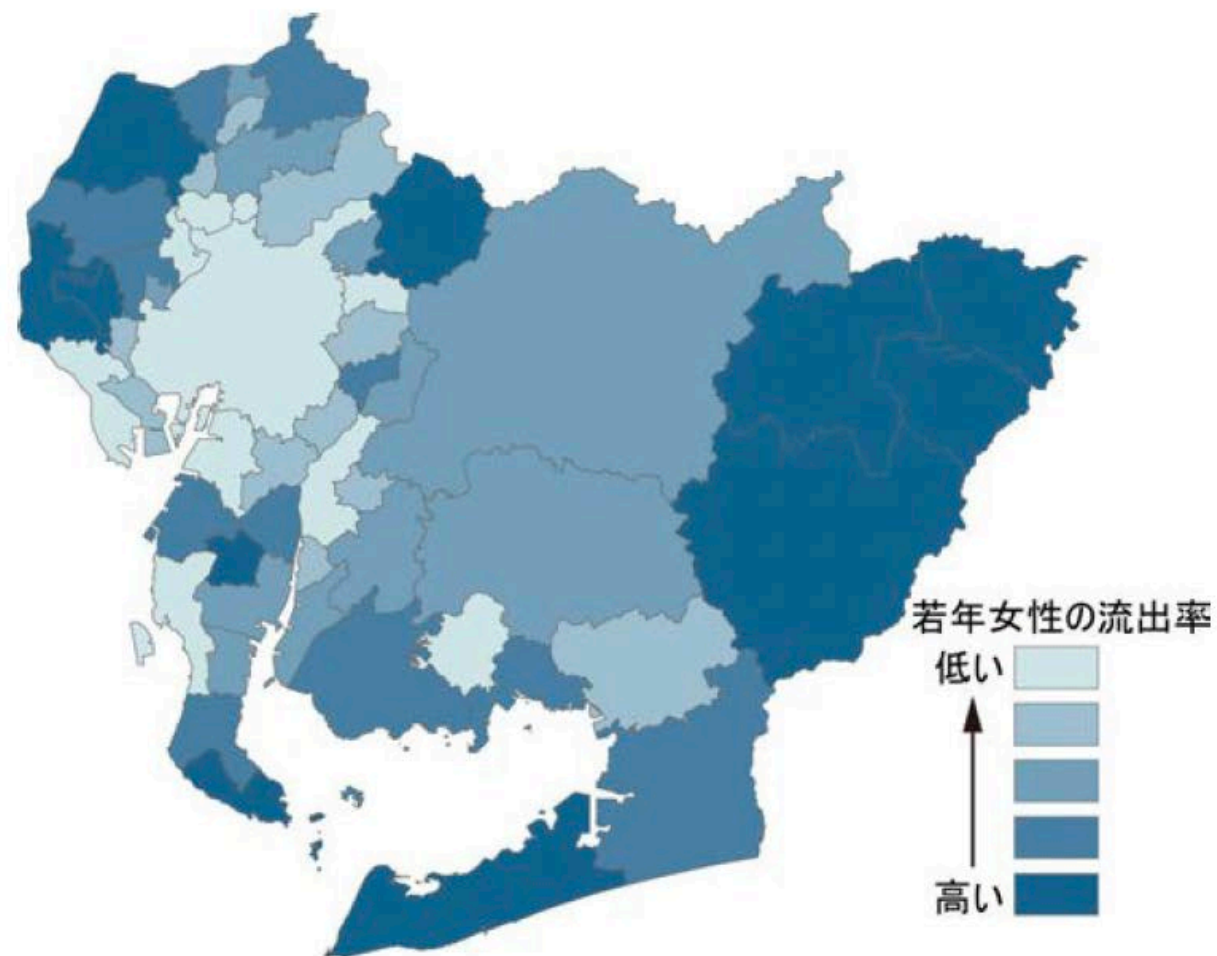
2024年2月10日

石本めぐみ

若年女性の流出率

日本の地方の最優先課題である人口減少の原因として懸念される若年女性（20-39歳）の流出問題は、会社、家庭、社会において地域の女性の尊厳を重視してこなかったことから、より選択肢の多い都心部へ若年女性が集中し、地方へ戻らないことが大きな課題である。愛知県内でも、若年女性の増減率が自治体によって大きく異なる。

人口比で多い自治体：東三河の豊根村、東栄町、設楽町、新城市、田原市、知多の南知多町、海部の愛西市、津島市、尾張の瀬戸市、一宮市



なぜ愛知県から若年女性が東京圏へ流出するのか？

経済面で好調なはずのエリアですら
女性流出が続いている*2

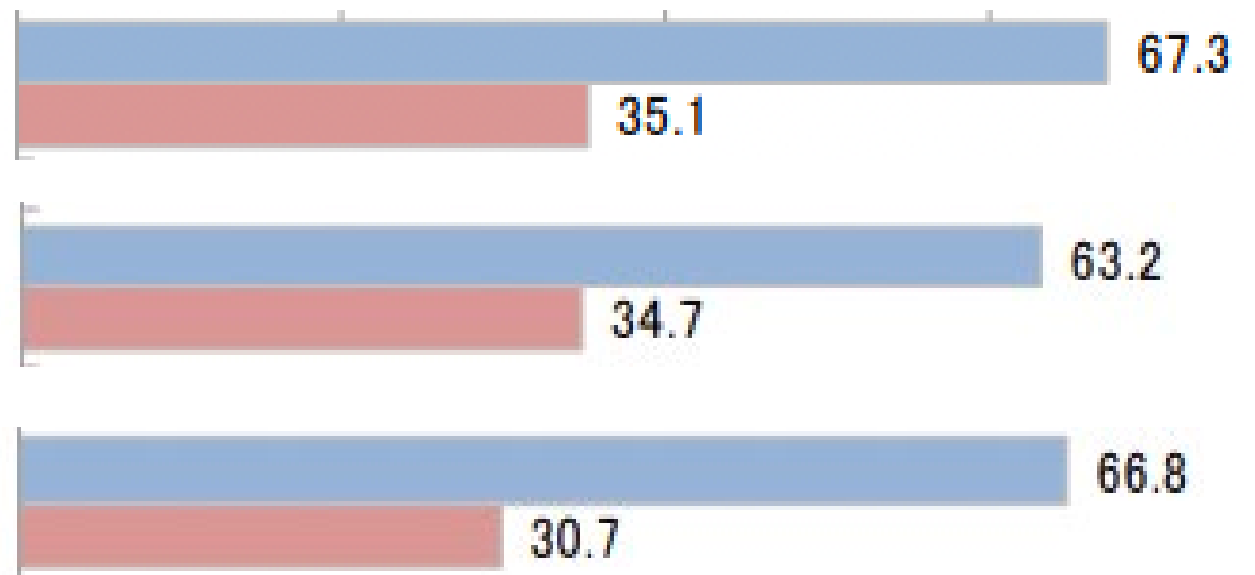
活躍の機会

女性にとって職業の選択肢が多く、
やりたい仕事ができる

キャリアアップできる

転職・起業のチャンスが多い

■ 東京圏在住者(n=413) ■ 愛知県在住者(n=202)

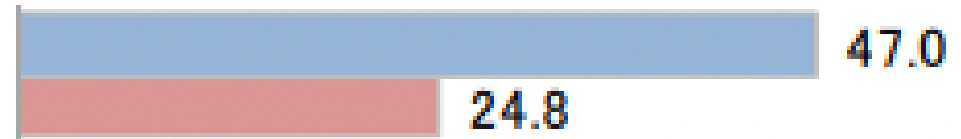


なぜ愛知県から若年女性が東京圏へ流出するのか？

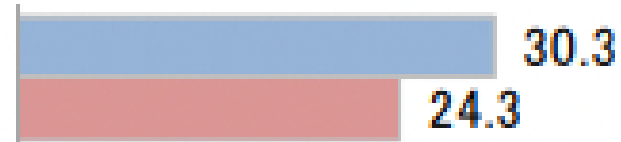
結婚・出産後も働きたい。
キャリアアップしたい → 東京圏へ

職場
環境

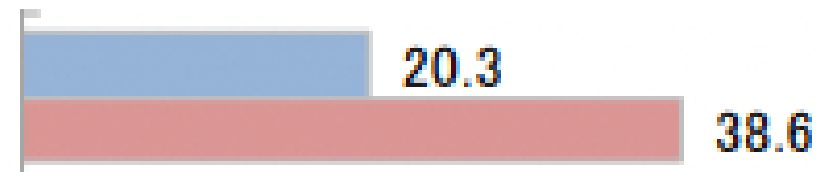
男性と同じ条件で働ける環境がある



行政の育児支援、親の支援等、
出産後も働きやすい環境がある



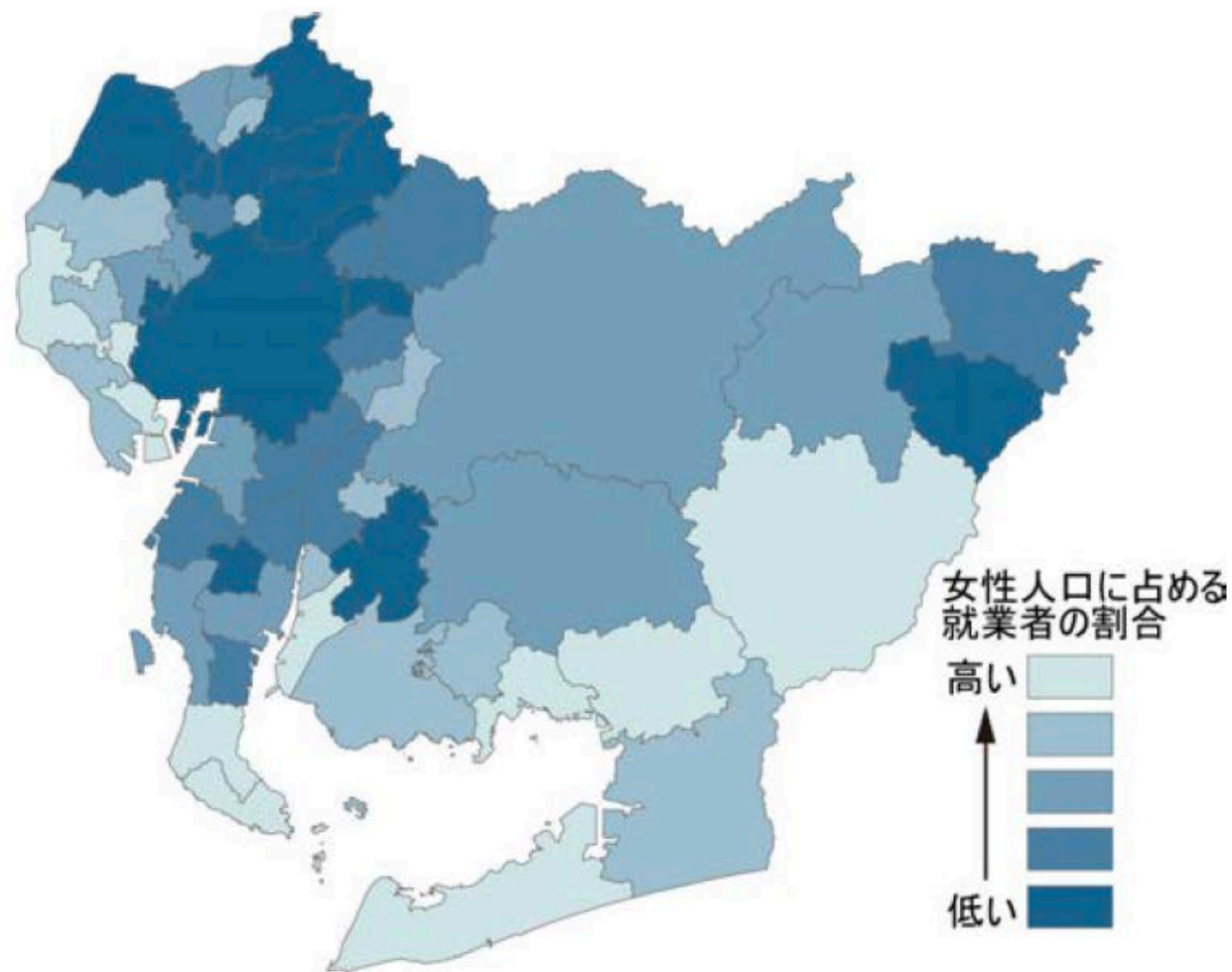
職場と勤務地が近く、混雑も少ない
など通勤環境が良い



女性人口に占める就業者の割合

女性の雇用率が低止まりしている理由として、女性に家事・育児等の無償労働が集中している（日本は週平均女性224分、男性41分、OECD2020）ことが影響を及ぼしている。愛知県の女性の雇用率は全国33位にとどまる（2015年）。

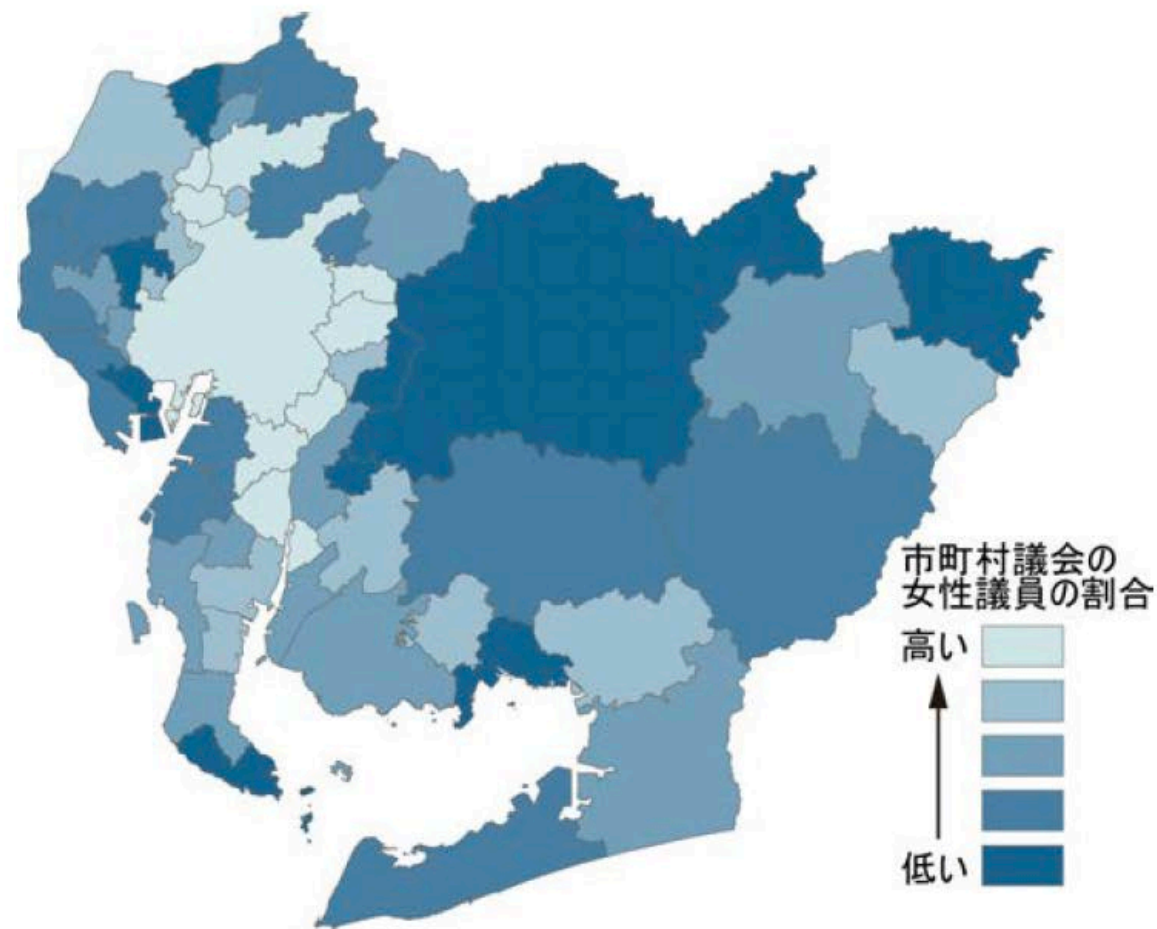
人口比で低い自治体：名古屋市、東栄町（南三河）、阿久比町（知多）、一宮市（尾張）、安城市（西三河）、長久手市（尾張）、春日井市（尾張）、岩倉市（尾張）、犬山市（尾張）、大治町（海部）



市町村議会の女性議員の割合

日本の政治分野の男女格差は138位と世界最低クラス（世界経済フォーラム2023年）。愛知県議会議員に占める女性の割合は7.8%、全国43位。県内の市町村議会は平均28.7%、全国21位。防災会議（都道府県10.1%）、公務員管理職（県11.3%、市町村28.%）、自治会長（6.7%）など意思決定の地位に女性が少なく、格差解消の是正施策が求められる。

人口比で低い自治体：豊根村（東三河）、みよし市（海部）、蒲郡市（東三河）、豊田市（西三河）、南知多町（知多）、あま市（海部）、江南市（尾張）、知立市（西三河）、飛島村（海部）

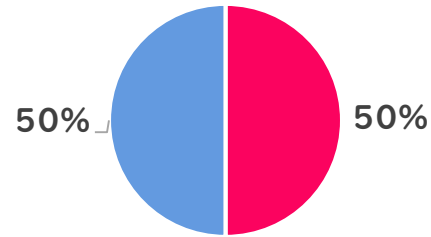


意思決定における女性の割合 市区議会議員（2022年度）

全国1位

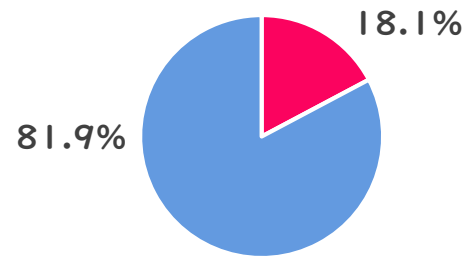
東京都清瀬市 50% (10人/20人)

兵庫県小野市 50% (7人/14人)



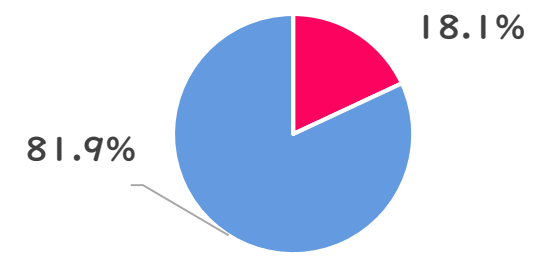
全国平均

18.1%

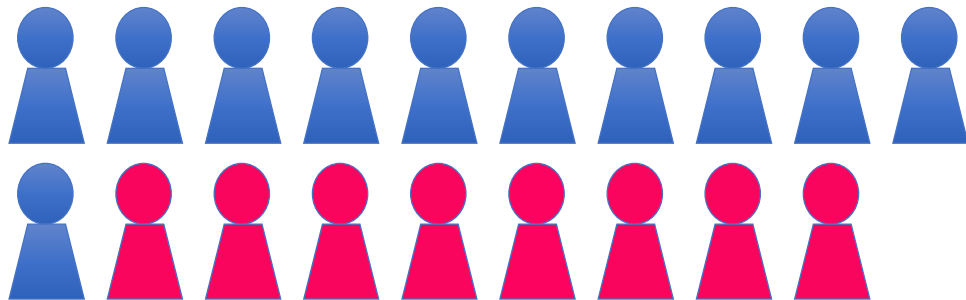
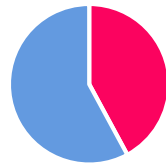


愛知県平均

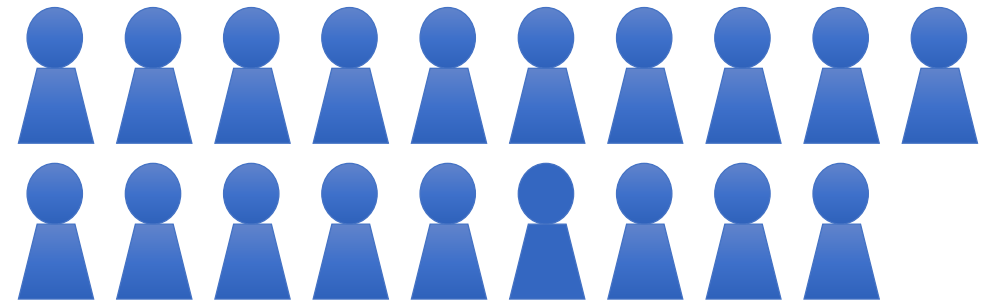
18.1% (165人/749人)



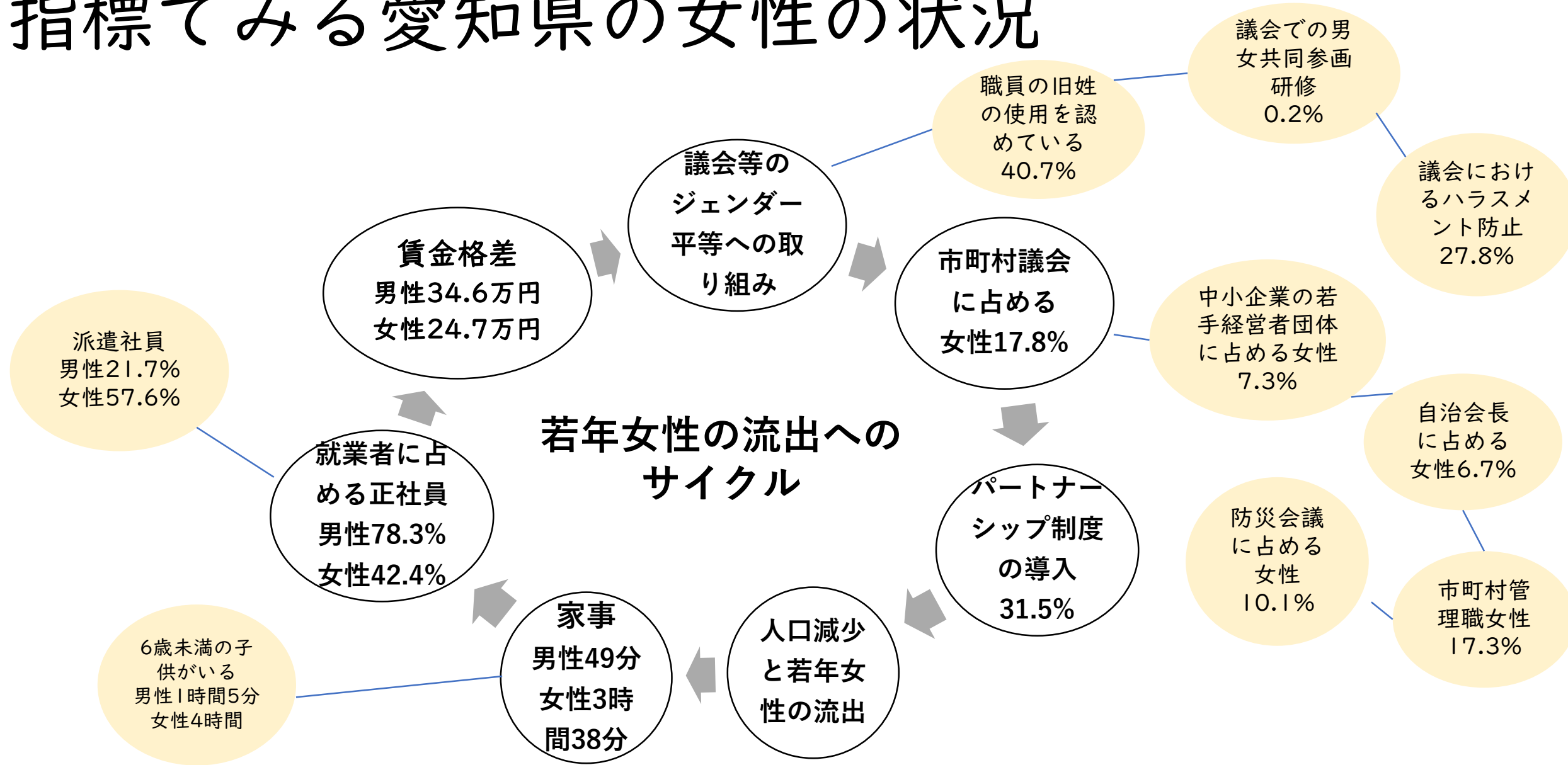
大府市 42.1% (8人/19人)



みよし市 0% (0人/19人)



指標でみる愛知県の女性の状況



誰も取り残されない地域づくりへ

指標

- 何が課題でそれがどれくらい深刻で、他のどんな課題と影響しあっているのかをデータで可視化する

実践

- 地域の行政・事業者・市民が共通の理解を持ち、それぞれの力を発揮し連携し合う

女性

- 自治体のSDGs施策、男女共同参画計画、子育て支援策に、ジェンダーの視点を重視する